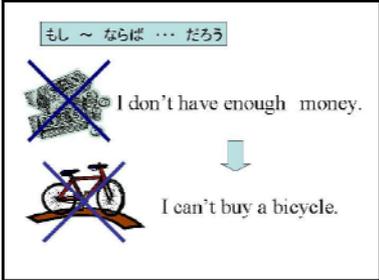
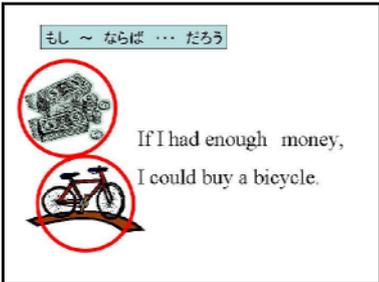
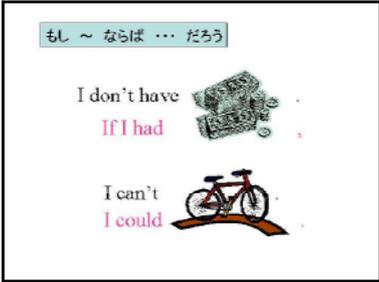
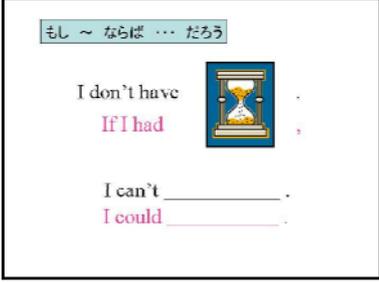


校 種	高等学校	教科	英語	科目	英語 I
単元名	文法『仮定法過去』 (もし ~ ならば ~ だろう)				
指 導 目 標	◆仮定法の基本的な形を理解する。 ◆日常生活で仮定法がどのように使われているかを理解する。				
指導計画			コンテンツ		
● 現在の事実とその反対の事を考えさせる。 「お金がない」 → 「自転車を買えない」 → 「お金があれば自転車を買えるのに」			(VOD1) [静止画] 		
● 仮定法の場合の変化を確認させる。			(VOD2) [静止画] 		
● その他の仮定法の例を出して文を作らせる。			(VOD3) [静止画] 		
			(VOD4) [静止画] 		
			(※) 上記 VOD1 ~ 4 の静止画は、 PowerPoint データとしても登録済み。		
指導上の留意点	・生徒各自に仮定法の文を作らせて、仮定法の文に慣れるようにする。				
VOD カテゴリ	高等学校 → 英語 → Grammar → 仮定法過去 → もし~ならば・・・だろう → VOD1 ~ 4 データ				